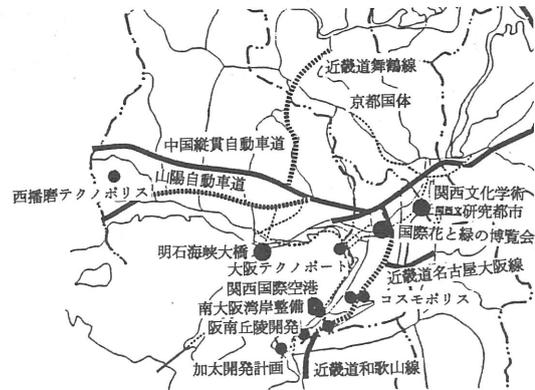


Structure Kansai No 15 '86.8

21世紀をめざす “関西の大規模プロジェクト”

西暦2000年（昭和75年）まであと14年。遠い未来であった21世紀が近い未来になってきた。京都、大阪、神戸という三都市を核とする関西圏でも、来たるべき21世紀へ向けて、活力と魅力ある街づくりが進められており、多くのイベントやプロジェクトが企画されている。いわゆるビッグプロジェクトと呼ばれるものがほとんどであり、その数は200例以上にのぼる。打ちあげ段階の具体性のないものもあるし、逆に予算化されて実行段階のものもありさまざまであるが、以下にその代表的なプロジェクトを紹介する。



(1) 関西国際空港

① 空港本島

○ 計画の概要

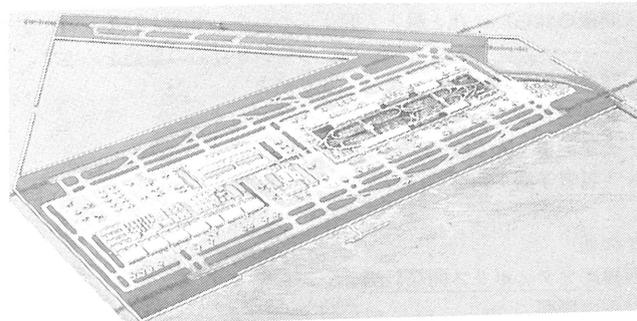
- ・位置 : 大阪湾南東部の泉州沖約5kmの海上
- ・規模 : 滑走路1本 3,500m 面積 511ha
- ・能力 : 年間離着陸回数 約16万回
- ・連絡橋 : 道路、鉄道併用橋 長さ 3.8km
- ・開港目標 : 昭和67年度末
- ・事業費 : 約1兆円

○ 航空輸送需要 (16万回相当時)

- ・旅客数 : 3,070万人/年 (国際1990万人/年、国内1080万人/年)
- ・貨物量 : 139万トン/年 (国際117万トン/年、国内22万トン/年)
- ・離着陸回数 : 454回/日 (国際356回/日、国内98回/日)

○ 空港への出入者数、貨物量 (16万回相当時)

- ・出入者数 : 187,800人/日 (国際旅客 44,200人/日、国内旅客 23,800人/日
送迎人 51,500 "、従業員 58,700 "
見学 3,800 "、商用者 5,800 ")
- ・貨物量 : 3,000トン/日 (国際貨物 2,400トン/日、国内貨物 600トン/日)

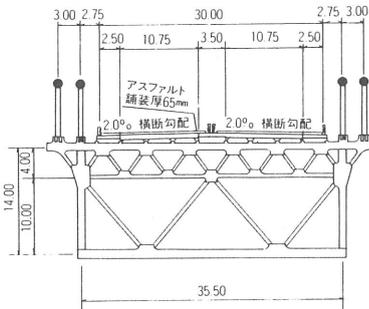


関西国際空港の完成イメージ図
(大阪科学技術センター資料)

(2) 明石海峡大橋

○ 計画の概要

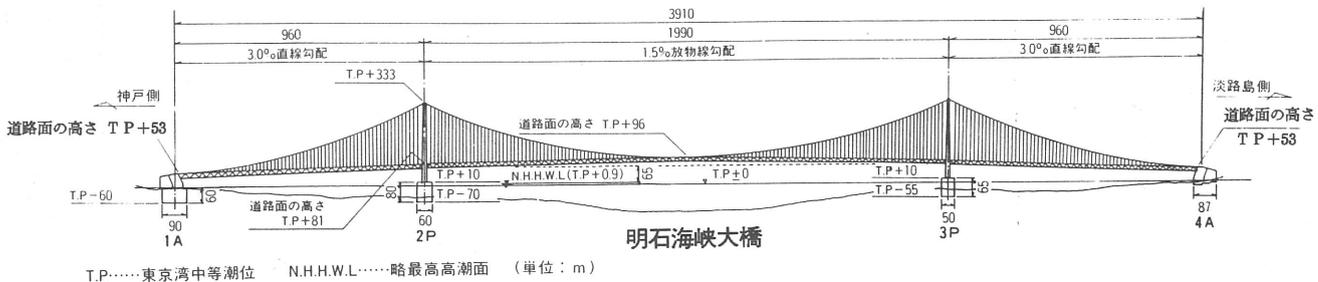
- ・路線名 : 一般国道28号線
- ・区間 : 神戸市垂水区～兵庫県津名郡津名町
- ・延長 : 約35.5km
- ・規格 : 第1種第2級 設計速度 100km/h
- ・車線数 : 6車線
- ・工期 : 現地工事着手後 約10年
- ・建設費 : 約6070億円
- ・橋梁 : 全長3910m 中央経間長1990m



●世界長大吊橋の順位

順位	橋名	中央支間長(m)	国名	完成年
①	明石海峡大橋	1,990	日本	1998(予定)
2	ハンバー橋	1,410	イギリス	1981
3	ペラゴノ・ナロウズ橋	1,298	アメリカ	1964
4	ゴールデンゲート橋	1,280	アメリカ	1937
5	マキノ橋	1,158	アメリカ	1957
⑥	南備讃瀬戸大橋	1,100	日本	1988(予定)
7	第2ボスゴラス橋	1,090	トルコ	1988(予定)
8	ボスゴラス橋	1,074	トルコ	1973
9	ジョージ・ワシントン橋	1,067	アメリカ	1931
10	4月25日橋	1,013	ポルトガル	1966
11	フォース道路橋	1,006	イギリス	1964
⑫	来島第3大橋	1,000	日本	未定
⑬	北備讃瀬戸大橋	990	日本	1988(予定)
14	セバーン橋	988	イギリス	1966
⑭	下津井瀬戸大橋	940	日本	1988(予定)
⑮	多々羅大橋	890	日本	未定
⑯	大島門橋	876	日本	1985
⑰	来島第1大橋	860	日本	未定
19	ニュー・タコマ・ナロウズ橋	853	アメリカ	1950
⑱	因島大橋	770	日本	1983

○: 本四連絡橋



(3) 関西文化学術研究都市

○計画の概要

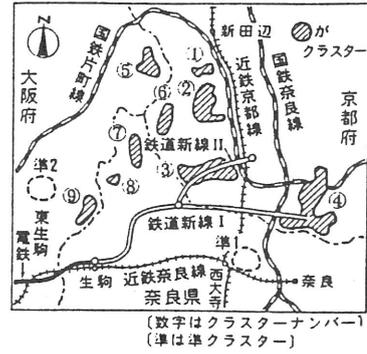
- 対象区域：大阪、京都の都心より約30km圏にあたる木津川の左岸の京阪奈丘陵
- 面積：概ね16,000 ha、うち文化学術研究地区 概ね3,000ha
- 人口：概ね35万人、うち文化学術研究地区 夜間人口 概ね12万人
従業人口 概ね4万人

・建設目標年次：21世紀初頭までに構成を図る。

○誘致施設（予定を含む）

- 同志社大学 S 61.4 開校
- 花き総合指導センター S 61.4 開設
- 厚生年金休暇センター
- (財)国際高等研究所 S 59.8 設立
- (株)国際電気通信基礎技術研究所 S 61.3 設立
- (株)エイ・ティ・アール通信システム研究所等4社 S 61.3 設立

国土庁がまとめた学術都市の開発計画図



(数字はクラスターナンバー)
(準は準クラスター)

クラスター別立地施設の整備方向

〔クラスター〕	〔基本方向〕	〔施設配置〕
(1)田辺町	研究・教育機能	同志社大学
(2)田辺・精華町	公的研究機関、基礎研究	大型実験研究所
(3)精華町	中核機能	中核機構本部、国際高等研究所、大型図書館
(4)木津町	産学住の定住都市	応用技術研究所
(5)枚方市	住宅都市と農業の調和	実験農場、緑化センター
(6)田辺町	農業研究機能	共同農場
(7)生駒市	既集落と調和した施設	海外大学の分校
(8)生駒市	先端技術産業機能	先端技術研究所、インダストリアルパーク
(9)四条畷市	21世紀志向の住宅都市	社会システム研究所
(準1)奈良市	古代文化ゾーン	古文書センター
(準2)四条畷市	余暇や交流ゾーン	セミナーハウス、自然生態史博物館

(4) 国際花と緑の博覧会

○計画の概要

- 開催のねらい：花と緑と人間生活のかかわりをとらえ、21世紀へ向けて潤いのある豊かな社会の創造をめざす。
- 開催時期：1990年4月1日～9月30日
- 開催場所：大阪「鶴見緑地」
- 会場面積：約140 ha
- 入場者予測：約2,000万人

(5) その他

①西播磨テクノポリス開発計画

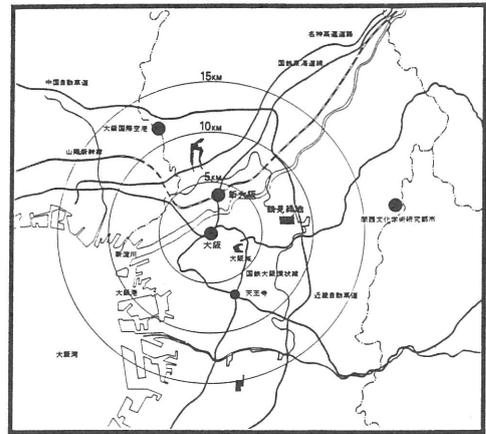
○計画の概要

- 圏域：姫路市、龍野市、相生市、赤穂市、新宮町、揖保川町、御津町、太子町、上郡町、佐用町、上月町、南光町、三日月町、山崎町

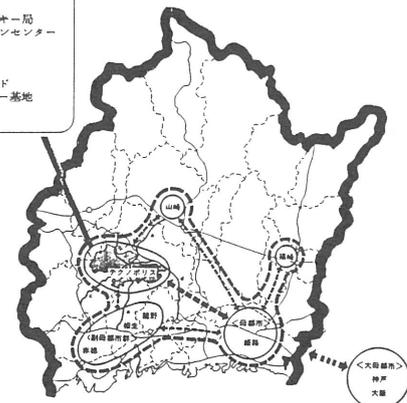
・西播磨新都市

- 位置：新宮町、上郡町、三日月町にまたがる西播磨丘陵
- 規模：面積2,000 ha
- 土地利用：住宅 220 ha
産業 200〃
学術研究 120〃
公共公益施設 380〃
環境緑地 850〃
レクリエーション 230〃

- 計画人口：36,000人
- 建設期間：昭和75年度熟成
- 誘致立地施設：6 GeV, SR施設



- ・研究開発センター
- ・人材育成訓練センター
- ・技術情報サービスセンター
- ・共同実験室・開放実験室
- ・レンタルオフィス
- ・金融支援システム
- ・健康科学大学・大学院
- ・図書館
- ・CATVサブキー局
- ・コンベンションセンター
- ・宿泊滞在施設
- ・お祭り広場
- ・ゴルフ場
- ・ユアフィールド
- ・ハンダライダー基地
- ・野鳥の森
- ・その他



西播磨テクノポリス圏域の整備構想

②大阪テクノポート計画

○計画の概要

- 位置：大阪市 南港・北港
- 規模：約700ha
- 内容：高度情報通信ゾーン……大阪テレポート、オフィスパーク
ハイテク企業の研究ゾーン……リサーチパーク
国際取引、総合物流、国際交通ゾーン……ワールドトレードパーク

③コスモポリス

○計画の概要

- 位置及び規模

泉佐野市上之郷地区	面積	約100ha
岸和田市神於山地区	面積	約200ha
和泉市春木久井地区	面積	約100ha

特集 大阪における最近の大型建築物の紹介

関西新空港、関西学術研究都市など、関西地区に於ける大型プロジェクトが動き出しておりますが、本号では大阪で現在建築工事中の大型建築物4例について、各建物の設計を直接担当された4氏にお願いして、その概要を御紹介させていただく事にしました。

ベル・パークシティG棟構造概要

三井建設(株) 関根秀次

大阪市都島区に、わが国で、初めての高さ100mを超える36階建の超高層住宅が出現する。ベル・パークシティG棟と呼ぶ。現在、上棟式を無事に終え、仕上げの段階にあり、昭和62年2月に竣工の予定となっている。当建物は、鐘紡淀川工場跡地を中心に、開発が進められている「ベル・パークシティ」のシンボルとなる2棟のうちのG棟である。引きつづき、他のJ棟も、昭和62年1月に竣工の運びとなる。

平面形をY型にする事により、全住戸の南面採光を可能にし、眺望、日照等超高層住宅のメリットを有効にしている。防災面ではエネルギー源をオール電化、内装を不燃化すると共に、バルコニーを全周に配し、全住戸に、熱感知器、非常放送システム等の設備を採用し、万全を期している。又、防災面でも、オートロックシステムや防犯カメラの設置、24時間体制の管理防災センターの配備など生活の安全面に対して、あらゆる角度からの配慮がなされている。

構造的には、超高層建物であると共に、用途が住宅である事を重視し、耐震安全性の他に、風による揺れに対しても、居住性のチェックを行っている。

構造骨組は、Bundle Tube Structureと呼ぶ外殻(チューブ)構造であり、内部をオープンにしショートスパンのラーメンを基本単位のチューブとして任意に組合せ、束ねる事で、全体が立体骨組として有効に働く様考慮したもので、本建物では、三角形のコアチューブに、3つのウイングチューブを束ねて、Y型の平面形としている。

構造種別は、1階をSRC造とし、2階以上の柱をSRC造とし、梁をS造とする混合構造である。微小変形時には、



高い剛性で風による揺れに対処し、大変形時には、ねばりのある靱性を保有する事で地震等に対処している。又、下層部柱には、F C 360 kg/cm²の高強度コンクリートを用い、内蔵する鉄骨は、圧延H型鋼を使用している。1次固有周期は、2.7秒であり、Y型のねじりによる影響は、ほとんど無い。応答結果は、EL CENTROが最も大きく、X方向、Y方向共にほとんど差は見られない。応答結果の最大ベースシア係数は、25Kine応答で0.104、40Kine応答で0.127、最大層間変形角は、それぞれ1/211、1/144である。

杭は、場所打ちコンクリート杭で、G.L-23mの天満層に支持させている。支持地盤層に対して、荷重を分散させる為、比較的小口径(1400φ)の杭を使用し、又、地震時の転倒モーメントに、有利に働くように、外周に重点的に、配置している。

建築主:三鐘都市開発(株)・三井不動産(株)・カネボウ不動産(株)・(株)デベロッパー三信・進和不動産(株)

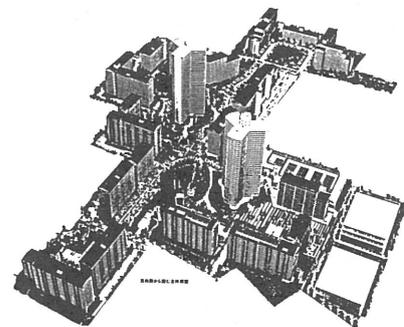
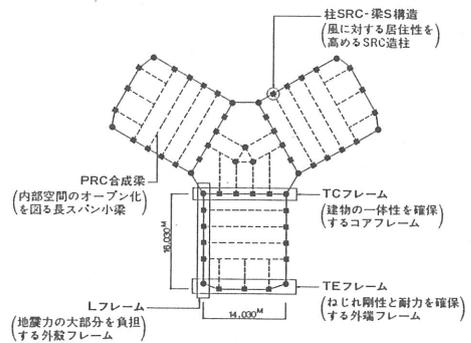
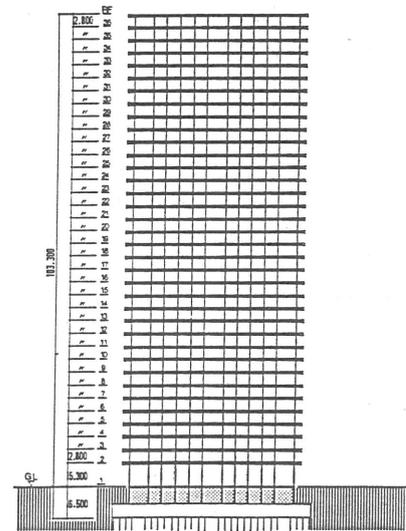
所在地:大阪市都島区友浜町1丁目18番地他

面積:建築面積1384m²
基準階面積925m²

階数:地上36階、塔屋2階

高さ:軒高103.3m 基準階階高2.8m、
1階階高5.1m

設計・施工:三井建設(株)



大阪府立体育会館改築工事

日建設計 山口 猛

本建物は昭和27年竣工の大阪府立体育会館の建て替え建物で、大阪のみなみの中心地である難波に位置している。旧建物はアマチュアスポーツの競技会場として、また大相撲3月場所などプロスポーツの中心会場として、スポーツの新興・育成に多大の機能を果たしてきたが、改築される建物はそれらの機能に付加して、展示会、音楽会、集会など文化的機能も拡充し、多目的体育施設として計画されている。建物の構成は、地上2階以上に第1競技場（床面積約3,000m²、最大収容人数約10,000人）を配し、地下部分に第2競技場（約900m²）、柔・剣道場（各約450m²）などのスポーツセンター機能をもたせている。また1階部分はピロティ、ロビー等の開放的空間を設けることにより、地上階と地下階の独立した使用を可能としている。

本建物は図-1に示すように地下2階地上4階の規模を有し、構造形式は地下階がRC造、地上階がSRC造、屋根がS造である。この第1競技場を覆う屋根の支持間距離は58.35×76.8m（片持部を含めた投影面積約5,400m²）で半径50mの半円筒の形状をしている。屋根の架構方法は図-2に示すように、両妻面にアーチ状の梁（妻面トラス）を設け、この妻面トラス間に2本のトラス（キールトラス 支持スパン76.8m トラス丈6.3m）を棟付近に、また、軒部には軒トラスを架け、キールトラスと軒トラス間に円筒形状に対応したサブトラスを設けている。これら主架構に用いた鋼材は約1,100t、最大板厚60mm（SM50A）である。

鉄骨建方は、屋根全体を6分割し、ブロックの組み立てが完成するに従って移動させ、順次屋根を完成させる方法をとっており、約3ヶ月の工期を要した。

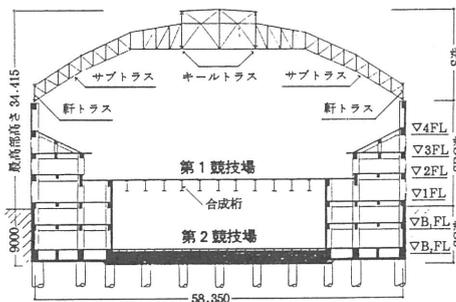
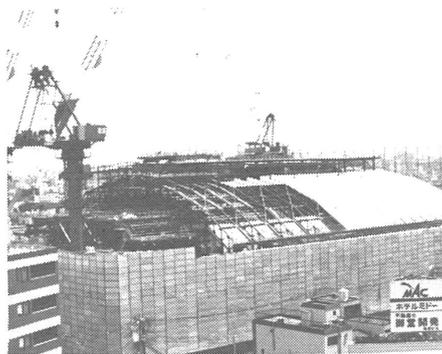


図-1 主体構造形式

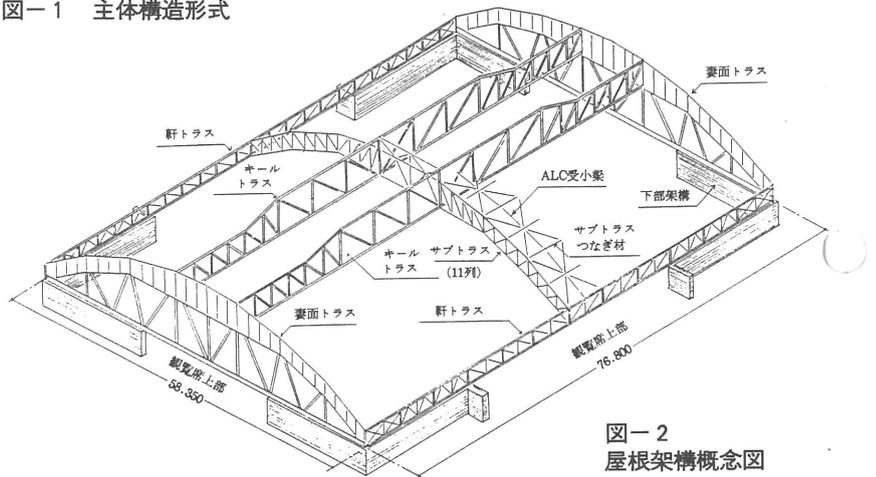
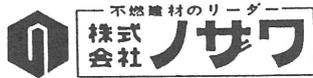
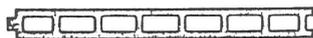


図-2 屋根架構概念図

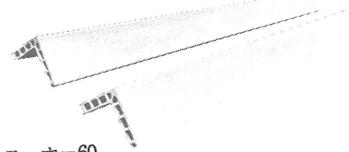
建物概要	大阪市浪速区難波中3-4-36
所在地	8356.8m ²
敷地面積	7171.4m ²
建築面積	28318.3m ²
延床面積	地上4階、地下2階、塔屋1階
規模	軒高20.2m、最高部高34.4m
高さ	B ₂ ～B ₁ 階RC造、1～R階SRC造
構造種別	屋根S造
地業	場所打ちコンクリート杭(アースドリル工法) 1000φ～2000φ (総本数219本)
仕上	屋根：カラーステンレス長尺瓦棒葺 外壁：大型磁器質タイル、アルミパネル 床：ゴムタイル、花崗岩 他 競技場床：フローリング (浅田桜 他)
設計	大阪府建築部営繕室 日建設計
監理	大阪府建築部営繕室 大阪府建設監理協会 日建設計
施工	建築 大林・戸田・鴻池・村本 J V 電気 栗原・浅海・六興 J V 空調 東洋熱・理研・ナミレイ J V 衛生 鳳・川本 J V
工事費	約110億円
工期	昭和60年3月22日～昭和62年1月31日(既存建家解体も含め、約22ヶ月)

アスロック (押出成形セメント製品)

耐火性、耐震性、耐凍害性、軽量性、意匠性で優れた性能を有する建築材料



アスロックコーナー50



アスロックコーナー60

大阪支店 〒530 大阪市北区曽根崎新地1丁目3番16号(京富ビル) ☎06-345-1031
 大津営業所 〒520 大津市梅林1丁目15番30号(第10林ビル) ☎0775-22-0486
 神戸営業所 〒651-01 神戸市中央区浪花町15番地 ☎078-391-1651

複合構造による高層事務所ビルの設計

㈱大林組 本店建築設計第4部

八木 貞樹

最近、従来の構造形式である鉄骨造、鉄筋コンクリート造等の分類に入らない異種構造を組合せ混合構造の建物が幾つか開発され実施されている。これは鉄骨や鉄筋コンクリートの長を生かした構法で、例えば、大梁S、柱SRCのS+SRC造も混合構造の一種である。ここでは、これらと区別する意味で、複合構造と称した。今回御紹介する建物は、地上14階地下2階、延床面積16,660m²の倉敷紡績本社ビルである。北立図面を図-1に基準階平面図を図-2に示す。本図に示す如くセンターコアと外周の壁及びラーメンで構成される整形なプランで、外壁は総石貼り、屋根は鋼板葺の重厚かつ端正なデザインの建物である。さて、本図を御覧の諸兄は、どのような構造形式を瞬時に思い浮かべられたでしょうか。鉄骨造やS+SRC造を浮かべられた方が多いと思います。プレストレストコンクリート造を思い浮かべた方も少数ながらおられることと思います。我々が構造形式を決定するに際して、建築家とのやり取りを以下に対談風に再現する。(A: 建築家 S: 構造家)

A「外装は石貼りですが、PC版に石貼りのような目地が大きく、石を貼った感じでなく、本物の組積造のように積んだ感じを出したい!」

S「はな、鉄筋コンクリート主体でやりまほか」

A「事務室空間は無柱空間にし、OA対応のビルにしたいが、鉄筋コンクリートでできますか」

S「13mぐらいのスパンやったら鉄骨梁にしたらできるし、鉄骨梁やったらセルラーデッキも使えるし、OA対応も楽やで」

A「ウーン?! そんな構造できるんですか」

S「そんなもんちょっと考えたらできるで」

A「主体構造が鉄筋コンクリートだと、仕上材の石と構造躯体が一体となった

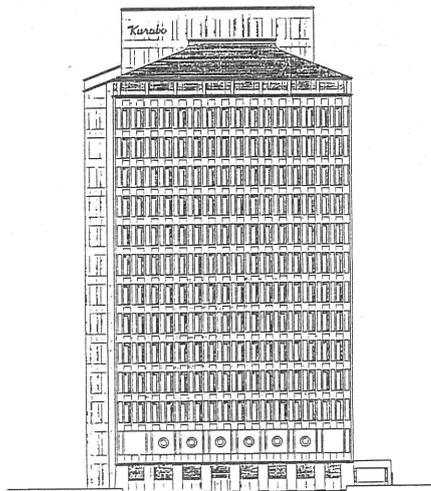


図-1 北立面図

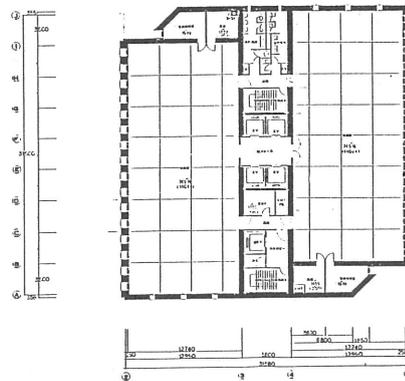


図-2 基準階平面図

本物の建物ができます。また躯体コストもSRC造に比べて少しでもコストダウンが可能なら、その分を外装費にまわしてもらえればいい建物になりますし……。」(ホンネもチャリ!)

A「耐震的にRCがSRCに比べて弱いということはありますか?」

S「センターコアの壁と東西面の壁をしっかり耐震壁に使ったら、十分安全なも

のはできると思う。南北面のラーメンは、現場地組みの組立鉄筋にしてスパイラルフープでコア内のコンクリートをしっかり拘束したら靱性の高い柱梁もできるし、施工性もええで。」

A「ハァ? ま、とにかく構造上の問題は特に無いのですね。」

S「何も無い。まあ、後は設備屋さんが、ちゃんと協力してくれたらええけどな。」

と、言うような会話(多分に私の脚色の入ったものですが)のなかで、本建物の基本的な構造形式は決定した。

基準階床梁伏図を図-3に示す。コア及び外周壁の壁厚は30cm~60cm、柱は65cm×75cmで1階の一部を除き全階同

一断面とした。鉄骨梁は梁せい75cmで両端部はメインダクトの横引の関係で35cmにするとともに、設備貫通孔を中央部分に6ヶ所設けて、配管及び天井裏のリターンチャンパー用とした。床の振動障害のチェックを行ない、中央の小梁の梁せいを大きくし、交叉梁の効果をもたせた。構造解析に際しては、静的非線形解析を行ない、得られた履歴曲線をD-Tri型の復元力特性として弾塑性応答解析を行ない耐震安全性の検討を行なった。

尚、本プロジェクトの設計及び施工は竹中工務店・大林組・藤木工務店の3社JVで、竣工は63年1月の予定である。

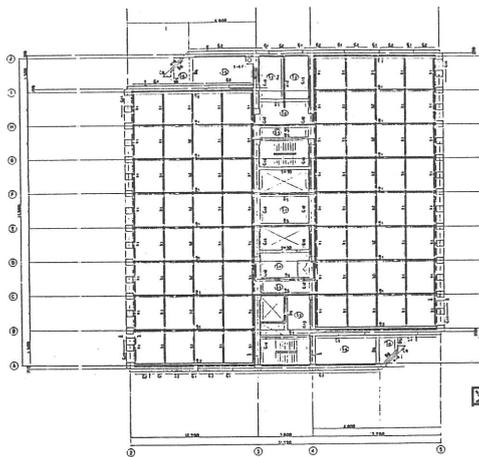


図-3 基準階床梁伏図

梅田センタービルの紹介

(株)竹中工務店 設計部構造課

奥本 英史

本建物は国鉄大阪駅東約400mのゴルフ打放場後地に計画されたもので昭和62年3月の竣工を目指して建設中である。全面ガラスのカーテンウォールの外観をもつ32階建の高層棟を中心にして、緑の公開空地、サンクンガーデン、イベントホール、アートハウス及び店舗群を配した構成となっている。高層棟1階のエントランスホールは2階まで吹抜けのフリーな空間となっており、ショールームとしての使用や各種発表会など様々な演出が可能となっている。3～32階は貸事務所フロアであり、天井高2.6m、スパン14.4mの事務室部分と、エレベーター、トイレ、階段等共用スペースをコンパクトにまとめたセンターコア部分で構成されている。事務室部分は3.2m×3.2mの平面グリッドを基本モジュールとして、空調、照明、家具レイアウト、防災の計画を行っており、基本モジュールの組み合わせを変化させることにより、間仕切及び家具レイアウトの多くのバリエーションが可能となっている。設備ハード面での大きな特色は、OA機器の増加、レイアウト変更に対しても自在に対応できる『アンダーカーペット配線システム』の採用と、各フロアを4つのゾーンに分け、各ゾーンを更にくみ細かく空調する『オールタイム完全独立空調システム』があげられる。ソフト面ではホストコンピュータを中心にビル内の全ての情報の一元化を行っており、机上のディスプレイ付多機能電話を用いた照明および空調の制御、貸会議室の予約、ビル内外の各種案内情報の入手等が可能なシステムとなっている。

次に構造計画について示す。高層棟部とまわりに広がる低層棟部とは、基礎梁を除いてB1、1階にエキスパンションジョイントを設け構造的に明確に分離させる方針とした。高層棟部では鉄筋コンクリート造の基礎梁を除き地下及び地上とも主体構造は鉄骨造とし、ラーメンの外周架構とブレースを含むラーメンのコア架構からなるダブルチューブ構造を採用した。これらの架構は対角方向の主軸



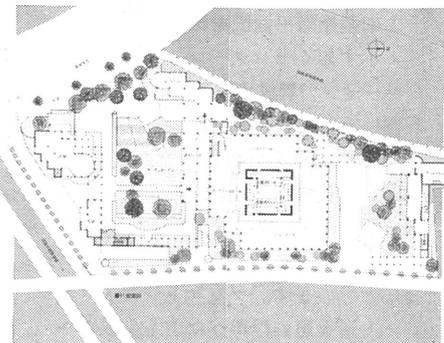
写真-1 梅田センタービル外観

図-1 1階配置図

2方向に関して全階対称とすることにより振れ変形を極力押えるとともに、チューブ構造の特色である立体効果をより高めるために柱をグリッド間隔に合わせて3.2m毎と密に配置させた。

次に本建物の構造上の特色の一つである基準階床構造システムについて述べる。外周架構とコア架構の間の床構造として、鉄骨梁と鉄筋コンクリート床版を一体とした合成梁構造を採用し、長大スパンに対する適正な面外剛性と両架構間の床面内剛性を確保した。一般に、この床躯体の施工手順は柱、梁鉄骨の建方の後、デッキプレートの敷き込み、床配筋、ポンプ圧送によるコンクリート打設等、多くの作業を必要とし、全体工期、揚重計画、施工安全管理に対して支配的な影響を与えている。今回、初期の設計段階より積極的に構法検討に取り組み、高所でのこ

れらの作業を大幅に簡略化すべく『PCaフロアパネル構法』を開発した。この構法は地上の製作ヤードで、床版と鉄骨梁が一体化されたPCaフロアパネルを製作し、これらを鉄骨建方と同時に次々と基準階に揚重するものである。図-2に基準階床伏図と代表的なフロアパネルの概要を示す。東西南北4方向に長スパンのフロアパネルを割り付けることにより、外周架構とコア架構を直接連結させている。隅角部には交差梁構造のパネルを配置し荷重を2方向に均等に分担させ小梁の軽量化をはかっている。鉄骨梁端部では梁成を小さくし、天井裏での排煙スペースの確保とスリーブ開口の減少を目指し



ている。各パネル間は要所での現場溶接接合の後、目地モルタルを充填することにより、パネルの連続性を確保する一方、事務室空間としての居住性を確認するため、モルタル充填の前後において、2人歩行時の床振動実験を行い興味ある結果を得ている。つまり、目地モルタル充填後は人の歩行により床に与えられる振動エネルギーが隣接パネルに次々と伝播していく効果が顕著に現われ、パネル中央部の最大振幅がモルタル充填前の半分の値となっている。

現在、梅田センタービルは外装のカーテンウォールもほぼ取り付けが完了し、その全貌を現わしつつある。

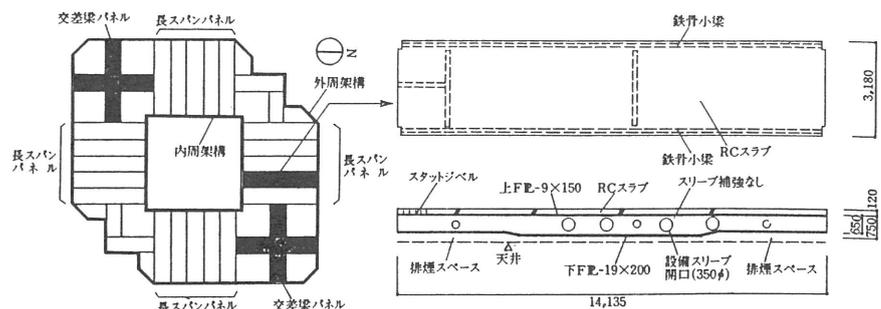


図-2 PCaフロアパネルの構造概要及び割付

技術委員会報告

R C 分科会

R C 分科会は「R C 造に関する新工法の研究・調査」を進めていくことを前年度に決定して以来、次の3工法について勉強した。その方法は各開発者の参加を求め、カタログ・資料の説明を求める。次に委員から質問・討議を行なうものである。

- (1) 昭和60年12月 フラッシュパット溶接のせん断補強筋について (東洋金網)
- (2) 昭和61年3月 高強度フープ (ウルボン) について (高周波熱れん)
- (3) 昭和61年6月 X型配筋の特性について (大阪工大 南宏一先生)

それぞれ新工法で大変興味ある内容で

あった。また、その結果を実施設計・施工に応用できるものと考えられる。

特に南先生の説明は明解で、同工法の考案者として有名である。それによるとX型配筋は部材のじん性を著しく向上させることができ、短柱のぜい性化改善に効果がある。X型配筋によってせん断補強筋が一般工法よりも少なくなる設計式も提案されているが、これらは機会をみて会員各位に伝えたい。

以上のように偶然であるが「鉄筋」に関する新工法が続いた。今後はコンクリートにも目を向けて、R C全般の見直しをしたい。本部のR C分科会では「R Cによる高層建築の研究」を行なっているので、当支部も近々この問題も考えていきたい。(文責 須賀 好富)

●支部の動き

- 4/10広報委員会
- 5/30広報委員会—No14の企画、編集
- 6/18事業委員会—本年度事業計画
- 6/19総務委員会—本年度活動計画
- 7/2理事会—本年度活動計画の承認
- 7/3広報委員会—No15の企画
- 8/19技術委員会—分科会活動の確認
- 技術委員会分科会活動
- 鉄骨—4/16、7/2
- R C—6/16X型配筋について
- P C—6/20
- 基礎—4/14、5/19、7/22アンケート分析
- コンピューター—5/27、7/22A Iについての勉強会

●事務局よりのお知らせ

1. 日本建築学会近畿支部主催、当会関西支部他の協賛で下記の講習会が開催されます。本講習会は動的相互作用に関する研究面ならびに実務設計への運用上の問題点を掘り下げ検討する有意義な内容のものとして企画されています。奮ってご参加下さい。

記

日時 昭和61年10月15日(水)

10:00~16:40

会場 大阪科学技術センター大ホール

内容 地盤・地業—構造物の動的相互作用と設計上の問題点

費用 学会会員10,000円

協賛団体会員11,000円

一般12,000円(テキスト代含)

申込 日本建築学会近畿支部

2. 現場見学会を実施します。対象は「大阪府立体育会館」で9月末頃予定です。案内が届きましたら奮ってご

参加下さい。

3. 昭和61年度構造法令専門者の認定申請について(お知らせ)

表記の件について、(社)大阪建築士事務所協会塚本会長より、当関西支部に紹介がありましたので要約を以下に掲載いたします。

- (1) 認定申請資格要件(抜すいですが、次の①又は②以降のすべてに該当するものです。)

①昭和60年度に認定申請をし病気・出張等やむを得ない理由で口頭試問に欠席したもの。又は、同年度に同様の理由で認定申請が出来なかったもの。

②一級建築士の免許取得後15年以上のもの他(省略)。

③構造計算の実務経験が10年以上のもの。

④協会又は大阪建築設計監理協会会員である建築士事務所に所属している

こと。

- (2) 提出書類

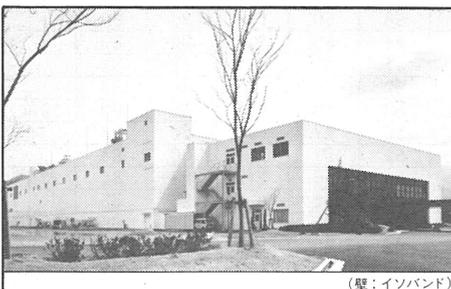
- ①認定申請書(様式1)
- ②申請者経歴証明書(様式2)
- ③構造設計監理実績書(様式3)
- ④一級建築士免許証の写し
- ⑤身元証明書
- (⑥申請者の作成した構造計算書2件)

- (3) 申請受付

昭和61年9月10日~9月16日

なお、所定の手続完了後は、構造法令専門者の責任において構造設計された階数5以下(地階のあるものを除く)かつ高さ20m以下の建築物や工作物(夫々特殊なものを除く)の確認申請に際しては構造計算書の添付を省略されることになっています。(構造概要書を添付する)

4. 支部設立5周年を記念して講演会を開催します。本年11月18日(火)午後3時よりの予定です。講師は西岡常一、西田光邦両氏です。



(壁:イソバンド)

ハイテク産業をバックアップ

断熱屋根パネル

イソダツハ

断熱壁パネル

イソバンド

外気温の影響を遮断し、シビアな空調空間を設営する断熱屋根パネル「イソダツハ」、断熱壁パネル「イソバンド」は、一般事務所・工場・倉庫等はもとより、クリーンルーム・超LSI工場の屋根・内外装・間仕切材として多くの実績を誇っております。



大同鋼板株式会社

本社 〒660 尼崎市 杭橋南新町 3-2-1 ☎(06)488-1181代
建材販売部 〒541 大阪市 東区 高麗橋 2-41 ☎(06)203-0751代
東京営業所 〒100 東京都千代田区 大手町2-6-2(日本ビル) ☎(03)279-0751代
札幌 ☎(011)251-8091 東京 ☎(02)225-1481 名古屋 ☎(052)241-2140
富山 ☎(0764)32-9898 広島 ☎(082)228-3040 福岡 ☎(092)481-3543

●会員の紹介

勝丸 文彦



勤 ㈱構造計画研究所
大阪支所
趣 パソコン

17年ぶりに大阪に帰ってきました。関西支部の仲間に入れていただきます。

最近小鉄骨工場を見る機会があり、その製品の劣悪さに驚きました。東京の鉄骨部会で始めていた監理小冊子の重要性を再認しました。大阪の会員も協力していただきたいと思います。

前田 卓実



勤 卓建築事務所
趣 音楽

小事務所故実務に忙殺される毎日です。現実には期間も短かく構造計画の打合せも十分とは云えません。想いと実際の隔りを大いに感じます。以前から思っていたのですが、やはり計算機にかまけず、全体のバランスや期待した結果を素早く得るために、今までの経験や既存の資料の整理をやっと始めた次第です。

日下部 一一



勤 ㈱竹中工務店大阪本店
設計部構造課
趣 登山

“これが12年物のスコッチです”うまいと答える人もあれば、まずいと答える人もいる。ウイスキーの好きな人、ブランド、バーボンの好きな人。ロックの人、水割りの人。日本酒しか飲まない人。ビール党の人。なにはともあれ、人それぞれの12年物があっていい。

吉屋 英行



勤 ㈱竹中工務店大阪本店
設計部構造課
趣 Tennis, Bowling, Drive

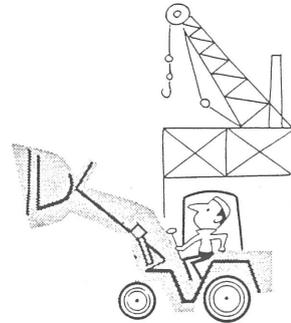
Bowling の醍醐味である strike を続けるには、ヘッドピンを外さない事と、回転の良いボールを投げる事が必要です。構造設計においても、キーポイントを外す事なく、回転の利く取組み方で物の本質を捉え、作品の付加価値を高めたいと思っています。

下野 直人



勤 ㈱竹中工務店大阪本店
設計部

高原を歩くのが好きで、よく信州を訪れます。厳しい冬を生き抜いた高山植物が処々に咲いています。そっとカメラを近づけると、都会の花のような華々しさはなく、清楚で素朴な様に心惹かれます。名前を覚えようとするのですが、すぐに忘れてしまうので、今年は花のアルバムでも作ろうかと思っています。



第5回構造家懇談会関西支部
ゴルフ親睦会 報告

五月晴れのグリーンの下で爽快な汗を流しながら総勢30名が楽しく、腕と口を競いながら、がんばった成績が右表の通りであります。

優勝者は仕事柄・金使いの上手な「アイアの王者」松尾橋梁の山口さんに決まりました。

長身からくり出すドライバーショットよりも、小技のアプローチがさえ、見事なアンダーバーでした。

鉄屋さんでも少しは木を使って欲しいとの影の声が同伴競技者からありました？8位から17位迄 Net 79、Net 80が各々5人づつという熱戦で順位は年長者順で決まりましたが、幹事は成績表づくりで、忙がしく、次回からは生年月日をスコアに記入して頂くことにしました。週日でないと30名の予約がむつかしく次回も日、祭りでない11月6日(木)に伏尾G. Cで行いますが多数の御参加をお願いいたします。

(真塚達夫)

ニヤビン 南コース 徳永、関本 西コース 川村、藪内
ドラゴン 南コース 奥村 西コース 俣野
次回ハンディ 山口 13、安田 19、広浜 13、小島 30

	氏名	東コース	南コース	GROSS	H. D	NET	RANK
1	山口 和成	45	42	87	18	69	優勝
2	安田 光世	51	43	94	21	73	2位
3	広浜 武雄	46	42	88	14	74	3位
4	藪内 貞男	47	41	88	13	75	4位
5	渡辺 博	50	47	97	22	75	5位
6	馬瀬 芳知	44	39	83	7	76	B.G
7	須賀 好富	44	46	90	14	76	7位
8	日下 英雄	49	50	99	20	79	
9	真塚 達夫	46	44	90	11	79	小波
10	宮野 禎三	57	50	107	28	79	10位
11	平見 殖	56	46	102	23	79	
12	中島 久	62	45	107	28	79	大波
13	梅木 信正	42	45	87	7	80	
14	山森 功雄	42	54	96	16	80	
15	谷尾 俊弘	56	45	101	21	80	15位
16	川村 紘一	66	50	116	36	80	
17	西座 広昌	54	48	102	22	80	
18	徳永 雄一郎	57	60	117	36	81	
19	小島 明	62	58	120	38	82	
20	俣野 博	68	50	118	36	82	20位
21	関本 重雄	56	47	103	20	83	
22	松浦 英一	57	57	114	30	84	
23	吉田 博史	56	56	112	28	84	水平
24	菊田 久	60	51	111	26	85	
25	奥村 寿三雄	56	55	111	26	85	25位
26	吉村 欽吾	62	60	122	30	92	
27	犬飼 一文	62	56	118	25	93	
28	勝丸 文彦	58	59	117	24	93	
29	丸岡 義臣	61	72	133	36	97	B.B
30	尾崎 和彦	70	70	140	36	104	

発行 構造家懇談会関西支部事務局
川崎建築構造研究所 TEL 231-3112